



広域集中監視・センター装置
パトホン PR-7000

取扱説明書



ニカド電池のリサイクルにご協力下さい

IWATSU

目次

ご使用の前にお読み下さい.....	2
安全上のご注意.....	2
1. 概要.....	7
2. 特長.....	7
3. 構成.....	7
3.1 構成.....	7
3.2 構成品.....	8
4. パネル説明.....	9
4.1 前面パネル.....	9
4.2 背面パネル.....	10
5. 機能.....	11
5.1 動作概要.....	11
5.2 自動応答（受信）.....	11
5.3 ハンズフリー機能（受信）.....	11
5.4 発信電話番号受信機能（受信）.....	12
5.5 外部機器出力.....	12
5.6 制御・センサ確認.....	12
5.7 送信試験機能.....	12
5.8 接点出力機能.....	12
5.9 接点入力機能.....	13
5.10 定時通報確認機能.....	13
5.11 停電バックアップ機能.....	13
5.12 転送機能.....	13
5.13 回線ユニット【PR-7002】（オプション）.....	13
6. パネル設定.....	14
6.1 操作の流れ.....	14
6.2 LCD表示.....	15
6.3 設定方法.....	16
6.4 リレキ表示.....	22
7. 印字サンプル.....	25
7.1 設備モードで使用する場合.....	25
7.2 警備モードで使用する場合.....	26
7.2 警備モードで使用する場合.....	27
7.3 制御の場合.....	29
7.3 制御の場合.....	30
7.4 センサ入力確認の場合.....	32
7.5 送信試験の場合.....	34
7.6 S I O 1の通信がエラーの場合.....	35
7.7 定時通報がエラーの場合.....	36
7.8 停電／復旧の場合.....	36
7.9 PR-7000本体内部でデータ通信に異常があった場合.....	36
8. リボンカセットの交換.....	37
9. プリンタ用紙の交換.....	38
10. 仕様一覧.....	39
11. 添付品.....	39
12. 故障かな？と思ったら.....	40
13. 保証書とアフターサービス.....	42

ご使用前にお読み下さい

このたびは、パトホンPR-7000をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本製品をご使用になる前に、本書をよくお読みになり、正しくお取り扱い下さい。また、お読みになったあとも、いつでも見られる場所に大切に保管して下さい。

安全上のご注意



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



警告

- ☆ 電源にはAC 100V以外の電圧を使用しないで下さい。火災や感電の原因となります。
- ☆ 電源プラグは、タコ足配線をしないで下さい。コンセントが過熱して火災の原因となる恐れがあります。必ず専用のコンセントをご使用下さい。
- ☆ 濡れた手で、電源プラグを抜き差ししないで下さい。感電の原因となります。
- ☆ 電源プラグの刃に金属などが触れると火災・感電の原因となります。
- ☆ 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないで下さい。電源コードは重い物を乗せたり、加熱されたり、強く引っ張ったりすると破損し、火災や感電の原因となります。
- ☆ 電源コードを無理に曲げたり、ねじったりしないで下さい。火災・感電の原因となります。
- ☆ 本装置には、必ずアースを接続（接地）して下さい。（D種100Ω以下）
落雷による本装置の損害や火災が発生するのを予防する効果があります。
- ☆ 本装置に水が入らない様、また、濡らさない様ご注意ください。火災・感電の原因となります。
- ☆ 本装置の上や近くに花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品、水などの入った容器または小さな金属物を置かないで下さい。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。
- ☆ ぐらついた台の上や傾いた所等、不安定な場所に置かないで下さい。落ちたり、倒れたりして、怪我の原因となります。
- ☆ 振動・衝撃の多い場所に置かないで下さい。落ちたり、倒れたりして、怪我の原因となります。
- ☆ 通風孔等から金属類や燃えやすい物など異物を入れないで下さい。火災・感電の原因となります。
- ☆ 本装置の通風孔を塞がないで下さい。内部に熱がこもり火災の原因となる事があります。
- ☆ 本装置を分解・改造しないで下さい。火災・感電の原因となります。
- ☆ 本装置のカバーは外さないで下さい。内部には電圧の高い部分がありますので感電の原因となります。内部の点検、調整、修理は販売店にお申し付け下さい。
- ☆ 雷が激しい時は、電源コード・回線コードに触れないで下さい。感電の原因となります。

- ☆ 近くに雷が発生した時は、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。雷によっては、火災・感電の原因となります。
- ☆ 記録紙交換、紙づまり修正の際、指はさみ、指の怪我にご注意下さい。またサーマルヘッド等は、高温になっていますので触れないで下さい。
- ☆ 電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換を依頼下さい。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- ☆ 故障したまま使用しないで下さい。火災・感電の原因となります。すぐに電源スイッチおよびB A Tスイッチを切り、差し込みプラグを抜いて修理をご依頼下さい。
- ☆ 損傷したケーブルやアダプタ等を使わないで下さい。火災・感電の原因となる事があります。
- ☆ 万一、内部に水などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチおよびB A Tスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡下さい。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- ☆ 万一、本装置の内部に異物が入った場合は、まず本体の電源スイッチおよびB A Tスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡下さい。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- ☆ 万一、煙が出ている、変な臭いがする異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源スイッチおよびB A Tスイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼下さい。お客様による修理は危険ですから絶対おやめ下さい。
- ☆ 万一、本装置を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチおよびB A Tスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡下さい。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



注意

- ☆ 電源プラグは、コンセントに確実に差込んで下さい。
- ☆ 電源コードを熱器具に近付けないで下さい。コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となる事があります。
- ☆ 長時間、本装置をご使用にならない時は、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いて下さい。
- ☆ 電源プラグを抜く時は、必ずプラグを持って抜いて下さい。
電源コードを引っ張るとコードが傷ついて、火災や感電の原因となる事があります。
- ☆ 修理用の部品は必ず指定部品をご使用下さい。
規定以外の部品を使用されますと、火災や故障の原因となります。
- ☆ 本装置の設置は卓上設置とし、安定したところに堅固に取り付けて下さい。
安定したところに設置し落下する恐れのない様にして下さい。
- ☆ 次の様な場所には設置しないで下さい。本装置の故障や、火災・感電の原因となります。
 - 振動や衝撃の影響を受けるところ。
 - 直射日光や冷暖房機のそばあるいは、冷凍・冷蔵庫の内部など急激な温度変化の影響を受けやすいところ。
 - 風呂場など、高温・高湿度のところ。
 - 塵埃・粉塵・有毒ガスのあるところ。
 - 煙・油煙・湿気（蒸気）などが直接当たるところ。
 - 昆虫や害虫などが徘徊しているところ。
- ☆ 本装置は屋内で使用する様に作られています。防水対策は施してありません。
- ☆ 本装置の工事（配線・据付・試験調整・移動・撤去など）は技術と経験が必要です。
必ず「公衆電気通信工事担任者」の有資格者に依頼して下さい。無資格者による工事は、電話が不通になったり、本装置の故障の原因となります。
- ☆ 水滴がついたら乾いた布で拭き取って下さい。
- ☆ 1年に一度くらいは内部の掃除を販売店などにご相談下さい。本装置の内部に埃が溜まったまま長い間掃除をしないと、火災や故障の原因となる事があります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、内部掃除費用については販売店などにご相談下さい。
- ☆ 使用済の電池は火中に投げ入れないで下さい。爆発して火災・やけどの原因となることがあります。

お知らせ

☆ 本装置は電話（アナログ）回線を使用した受信装置です。

●火災や危険を防止したり、人命を救助する装置ではありません。

●盗難を完全に防止するものではありません。

本装置の設置にあたっては、使用方法や使用条件を十分確認の上ご使用下さい。

☆ 本装置は、電気事業法で定められた「端末機器技術基準適合認定」対象品です。改造は法律違反となります。

☆ 本装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）基準に基づくクラスA情報技術装置です。本装置を家庭環境で使用すると、電波障害を引き起こす事があります。この場合には、使用者が適切な対策を講ずる様に要求される事があります。取扱説明書にしたがって正しく取扱って下さい。

☆ 本装置は、電子部品（ICなど）を採用しているため、テレビ・スピーカーボックスなどの電磁波や磁気の発生する機器のそばでのご使用は、雑音が発生したり、通信が途切れるなどの原因となる場合がありますので避けて下さい。

☆ 本装置の故障もしくは不具合などが原因で発生する付随的障害、被害につきましては、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承下さい。

☆ 本装置は、日本国内で使用される様に作られております。海外では使用出来ません。

お願い

☆ 本装置は、通信機器です。常に正常な状態でご使用頂くために、専門技術者による保守契約をして頂き、1年に一度は、定期点検を実施して下さい。

☆ 本装置は停電（AC100V喪失）時でも動作させるために非常用の電池を実装しております。次の事にご注意下さい。

- 本装置を使用中は電源を切らないで下さい。（常時、充電状態でご使用下さい。停電用電池を満充電にするためには、約1週間の連続充電時間が必要です。）
- 停電時における動作補償時間は、新品の電池で約30分（但し満充電、電池新品時、回線ユニット未実装で着信回数3回まで）です。電池が古くなりますと動作補償時間は次第に短くなり、最後には機能しなくなります。
- 停電用電池は消耗品です。定期的（約3年）に交換して下さい。電池の交換は、販売店または弊社営業部にお申し付け下さい。

電池パック回収のお願い	
	停電用電池パックはリサイクル可能なニカド電池です。不要になった電池パックは、お買い求めになった販売店にご持参いただくか、販売店担当者にお渡し下さい。リサイクルの推進にご協力下さい。

☆ 本装置は、ICなど半導体の動作保護用のリチウム電池を使用しています。リチウム電池の寿命は装置を通电している状態で約3年です。但し、保存環境により大きく変わりますのでご注意下さい。リチウム電池の交換は、販売店または弊社営業部にお申し付け下さい。

- 正しく交換しないと電池が爆発する危険があります。
- 製造業者の推奨する電池または同タイプの電池と交換して下さい。
- 使用後の電池を捨てる時は製造業者の指示に従って下さい。

☆ 本装置は、電話回線やセンサ（感知機器）など本装置以外の機器または装置などと電線を使用して接続されています。点検の時または異常あるいは不具合がある時には、必ず本装置以外に接続されている機器などについても確認して下さい。

☆ 本装置はNTTの一般加入者電話回線（アナログ）に接続して下さい。PBXその他の回線は電気的条件等の相違で、正常に動作しない場合があります。

認定

財団法人 電気通信端末機器審査協会

技術基準適合認定 A05-0137001

平成17年 3月31日

1. 概要

本装置は「パトホン PR-7000」と称し、監視・制御を行う場所に端末機を設置し、集中監視を行う際に使用する受信装置です。

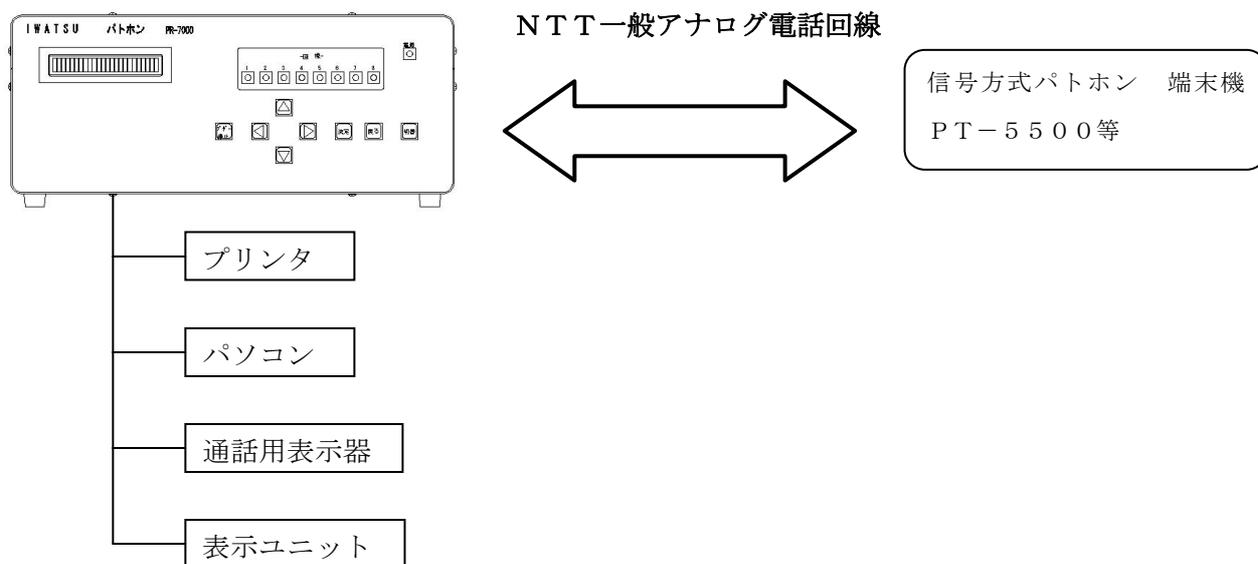
本装置は、NTTの一般加入電話回線にて端末機より送られてくるデータを受信して、その内容を印字記録する事が出来ます。また、本装置に接続した外部機器（コンピュータシステム等）から端末機の外部機器を制御する事により、集中監視・制御を行うシステムに使用します。

2. 特長

- ・ 基本構成で監視システムが構成出来ます。
- ・ 最大8回線まで収容出来ます。
- ・ 信号方式（P-2000, P-2000ENQ, P-3000, P-6000, P-6000拡張）のパトホン端末機からの送信データを受信可能です。

3. 構成

3.1 構成



3.2 構成品

① パトホン PR-7000

信号方式パトホン端末機からのセンサ情報等を受信し、接続された装置またはプリンタにデータを出力します。

② プリンタ【SP2320, スター精密製】(オプション)

本ユニットを接続する事により、PR-7000が受信したデータ等を印字する事が出来ます。

③ パソコン【DOS/V互換】(オプション)

汎用のDOS/V互換パソコンをRS-232Cにて接続し、専用ソフトウェア(後処理ソフト PR-6311等)をインストールする事により、PR-7000が受信した端末番号およびセンサ情報をパソコンの画面上に表示する事が出来ます。

また、パソコンからPR-7000を制御し、センサ確認等を行う事が出来ます。

④ 通話用表示器【PR-6080】(オプション)

本ユニットを接続する事により、通報元と通話をする事が出来ます。

※ 端末機にハンズフリー機能が必要です。

⑤ 表示ユニット【PR-7001】(オプション)

本ユニットをRS-232Cにて接続する事により、PR-7000が受信した端末番号およびセンサ情報をLED表示する事が出来ます。

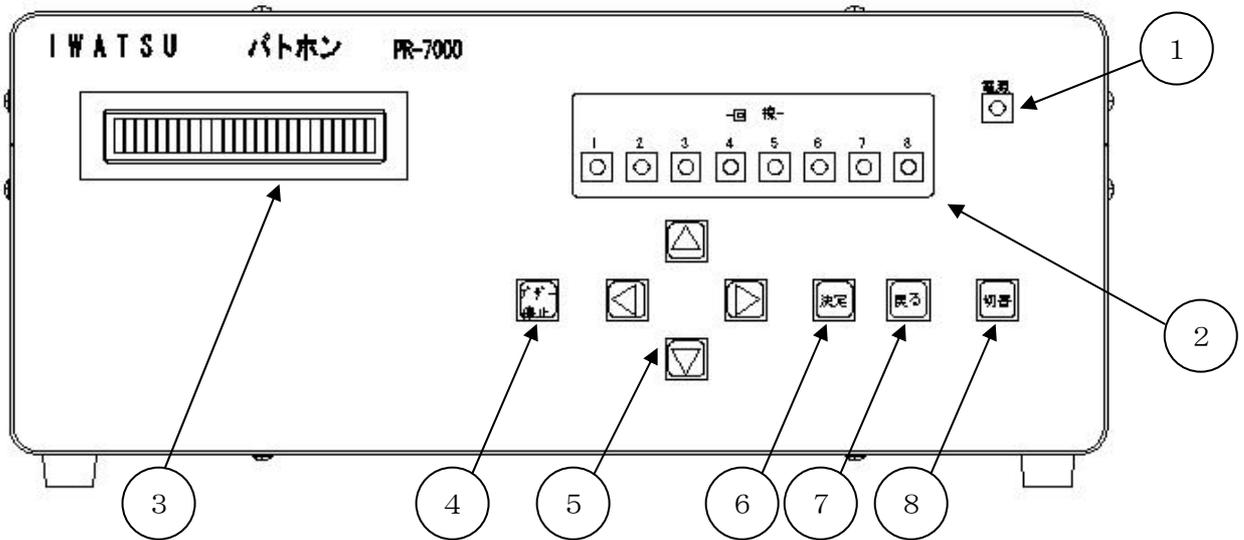
⑥ 回線ユニット【PR-7002】(オプション)

本ユニットをPR-7000本体内部に実装する事により、1枚あたり2回線を増設する事が出来ます。

最大で3枚まで実装する事が出来ます。

4. パネル説明

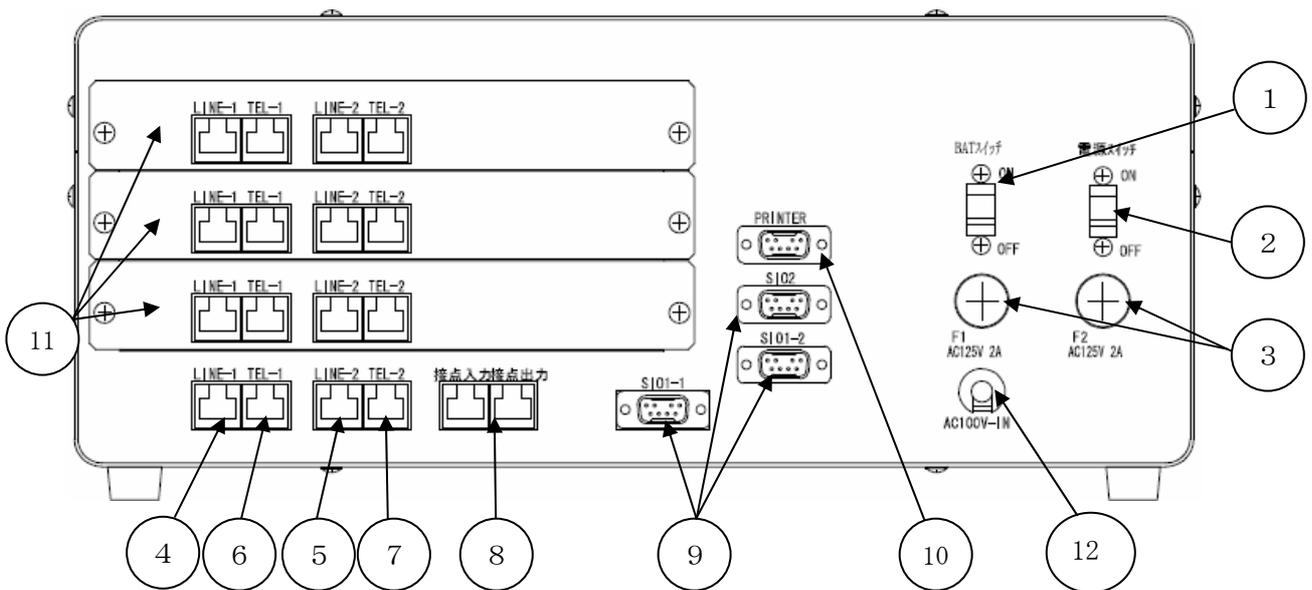
4.1 前面パネル



- ①電源ランプ…………… 電源を投入すると点灯します。
- ②回線ランプ…………… 回線使用中またはデータ受信中に点灯します。
- ③LCD表示器…………… 通常運転中は時刻を表示します。操作により装置の設定、履歴の表示等に使用します。
- ④ブザー停止スイッチ… プリンタ用紙切れ、およびエラー時に鳴動するブザーを停止する事が出来ます。ブザーに同期した接点出力Aも停止します。
- ⑤矢印キー }
⑥決定キー } …………… 本装置の設定、時刻設定等に使用します。
⑦戻るキー }
- ⑧切替キー…………… 矢印キー (⑤) を有効にする時に使用します。

※LCD表示は通常、時刻表示となっております。矢印キーを使用する時は必ず“切替キー”を押してからご使用下さい。また、一度時刻表示に戻した場合再度“切替キー”を押さないと矢印キーは動作しません。

4.2 背面パネル



- ①BATスイッチ…………… 上側に倒すと停電用電池が有効になります。
上側 (ON) : 電池ON
下側 (OFF) : 電池OFF
- ②電源スイッチ…………… 上側に倒すと電源が入ります。
上側 (ON) : 電源ON
下側 (OFF) : 電源OFF
- ③ヒューズ…………… AC100V用のヒューズです。(AC125V 2A)
ヒューズの交換方法は“工事説明書”を参照して下さい。
- ④⑤回線コネクタ…………… 電話回線を接続して下さい。
- ⑥⑦電話コネクタ…………… 通話用表示器 (PR-6080) を接続します。(オプション)
- ⑧接点入出力コネクタ… ブザー接点等の入出力端子です。
接点容量 : DC50V, 0.2A (抵抗負荷)
- ⑨SIOコネクタ…………… 外部機器 (コンピュータシステム等) を接続します。
※ SIO2は機器メンテナンス用のため使用出来ません。
- ⑩プリンタコネクタ…………… プリンタを接続します。(オプション)
- ⑪回線ユニット…………… 回線を増設する時に実装します。(オプション)
- ⑫電源コード…………… AC100V入力ケーブルです。

注) 装置の設置等に関しては必ず“工事説明書”をお読みになり正しく設置して下さい。

※停電用電池は常時動作しております。電源スイッチをONのまま電源コードを抜いても停電用電池により機器は動作を続けますので、電源を切る時は必ず電源スイッチおよびBATスイッチをOFFにしてから、電源コードを抜いて下さい。

5. **機能**

5.1 動作概要

- 1) 呼出信号を検知すると、回線接続ランプが点灯し、自動着信します。
- 2) パネルで設定された受信モードにより、端末機から送られてくるデータを受信します。
受信モード、発信者番号表示等は、回線毎に個別に設定する事が出来ます。
(パネル設定は “6. パネル設定” を参照して下さい。)
- 3) データを正しく受信すると、ブザーが鳴動し、プリンタ・S I Oにデータを出力します。
ブザー、プリンタ、S I O 1の有効/無効は“工事説明書”を参照して下さい。
- 4) 受信したデータを印字します。印字に関しては、“7. 印字サンプル”を参照して下さい。
- 5) ブザー鳴動音には以下の4種類があります。
 - ・ 連続音が1～5秒間鳴動
 - ・ 断続音が6～98秒間鳴動
 - ・ 断続音が連続鳴動
 - ・ 鳴動しない**※ ブザーはブザー停止スイッチを押す事により、停止します。**
- 6) 停電時、停電用電池によって約30分間動作します。
(但し満充電、電池新品時、回線ユニット未実装で着信回数3回まで)
- 7) S I O 1は2系統(S I O 1-1、S I O 1-2)あり、それぞれ有効/無効を設定出来ます。
S I O 1にはパソコン、表示ユニット(P R-7001)等を接続する事が出来ます。
※ S I O 2は機器メンテナンス用のため使用出来ません。

5.2 自動応答(受信)

- 1) 端末機からの呼出に対して自動応答し、回線ランプが点灯します。
- 2) 設定された受信モード^{*1}に従い、端末機から送られてくるデータを受信します。
- 3) データが正しく受信されると、ブザーが鳴動し^{*2*3}、データを印字します。(プリンタが必要です。)
- 4) 外部機器にデータを出力します。
 - ※1 回線毎に設定します。6. 3 (5) を参照して下さい。**
 - ※2 6. 3 (7) を参照して下さい。**
 - ※3 ブザーは、ブザー停止スイッチを押す事により停止します。**

5.3 ハンズフリー機能(受信)

- 1) パネル設定^{*1}“HF”がONの時、データ受信終了後、約3分間通報元と通話出来ます。
- 2) T E L端子にP R-6080を介して電話機を接続します。“HF”を設定した回線は端末側より信号通報で通報した後にP R-6080のL E Dが点灯します。この状態で電話機をオフフックすると、通報してきた端末と通話する事が出来ます。なお、T E L端子の電話機はハンドセットとして動作しますので、発信動作および着信動作は出来ません。
- 3) データ通信終了後約3分間回線を保持し、その後回線を切断します。
 - ※1 6. 3 (5) を参照して下さい。**

5.4 発信電話番号受信機能(受信)

- 1) パネル設定にて“ND”(ナンバーディスプレイ)有効に設定されていて、且つ発信者番号情報がある時は、これを印字します。(使用する場合は、NTTと別途契約が必要です。)

5.5 外部機器出力

- 1) 装置内部のディップスイッチで選択されたP-2000, P-3000, P-6000の各モードで、受信データをSIO1から出力します。^{※1}
- 2) SIO1の通信がエラーになった時は、受信データは出力バッファに格納されます。出力バッファの容量は10件分です。出力バッファが一杯の状態で通信エラーが発生した場合は、最も古いデータを1件削除します。この時、削除される受信データを印字します。
SIO1の有効/無効は、ディップスイッチで選択出来ます。“工事説明書”を参照して下さい。
※1 通信条件はポート毎に設定出来ます。6.3(8)を参照して下さい。

5.6 制御・センサ確認

- 1) SIOコネクタに接続された外部機器(コンピュータシステム等)から端末機に対して、制御およびセンサ確認が出来ます。
- 2) 送信回線は回線1(LINE-1)のみです。本機能をご使用の際は、パネル設定で回線1を送信専用を設定して下さい。

5.7 送信試験機能

- 1) 電話回線を通してパトホン受信装置に一定間隔で試験通報を行う事が出来ます。^{※1}
- 2) 送信回線は回線1(LINE-1)のみです。本機能をご使用の際はパネル設定で送信専用を設定して下さい。
- 3) 送信試験は7通りの設定が可能です。それぞれ、通報先、通報モード(P-2000, P-2000ENQ, P-3000, P-6000, P-6000拡張)、通報間隔(即時、1~998時間、無効)を個別に設定出来ます。
送信回線は試験データを送信します。送信出来ない時はエラーとして印字します。
また受信回線は、送信試験結果および試験データを印字します。
※1 送信試験の設定方法は6.3(4)を参照して下さい。

5.8 接点出力機能

- 1) 接点出力Aは、ブザーに同期して接点を出力します。
- 2) 接点出力Bは、パネル設定で設定された端末番号およびセンサ番号に受信データが一致した場合に接点を出力します。^{※1}
- 3) 接点容量: DC50V, 0.2A(抵抗負荷)
※1 条件の設定は6.3(6)を参照して下さい。
- 4) 接続は“PR-7000 工事説明書”を参照して下さい。

5.9 接点入力機能

- 1) 接点入力Aは、転送機能の有効／無効を切り替えます。
- 2) 接点入力Bは、ショートするとブザーの鳴動が停止します。
- 3) 接続は“PR-7000 工事説明書”を参照して下さい。

5.10 定時通報確認機能

- 1) 端末機からの定時通報を監視します。
- 2) 設定値を30分越えても端末機からの定時通報が無い場合、ブザー鳴動・プリンタ印字します。
※ 条件の設定は6.3(3)を参照して下さい。

5.11 停電バックアップ機能

- 1) 内蔵電池により、停電時に約30分の動作を補償します。(但し満充電、電池新品時、回線ユニット未実装で着信回数3回まで)
- 2) 停電が発生すると、“テイデン”と印字します。また、LCDに“テイデン”と表示します。
※ 印字中にプリンタの電源が切れる等、条件によっては印字を完了出来ない事があります。
- 3) AC100Vが復旧すると、“テイデンフッキュウ”と印字します。
- 4) 充電はAC100V通電時に自動的に行われます。満充電にするには約1週間必要です。
- 5) 停電用電池が消耗して電圧が一定以下になると、本装置の電源を完全に切断します。この場合は電源スイッチを一旦OFFにし、AC復電後、再度電源スイッチをONにして下さい。
※ 電池寿命は約3年です。寿命を超えた電池では、正しい停電補償動作が出来ません。

5.12 転送機能

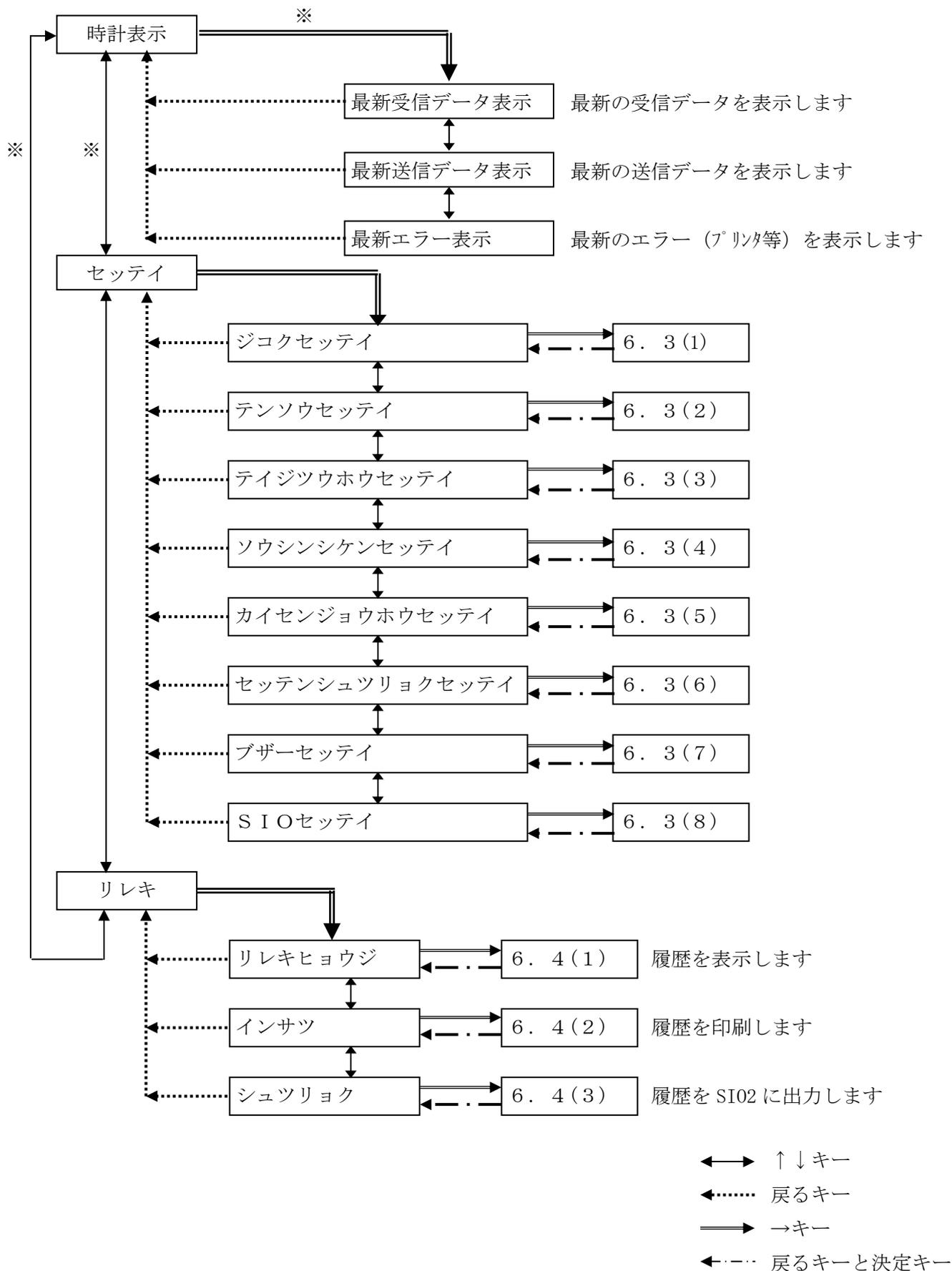
- 1) 受信データを監視し、予め設定された端末番号、センサ番号、通報先情報に従って受信データの転送を行います。
- 2) 転送グループは2組設定出来ます。
- 3) 転送時のリトライ回数は2回(送信は計3回)です。通報先がリトライで応答しない時は“テンソウエラー”と印字します。
- 4) 接点入力AがON(ショート)になっていないと転送しません。
※ 条件の設定は6.3(2)を参照して下さい。

5.13 回線ユニット【PR-7002】(オプション)

- 1) 本装置の受信回線を増設する時に使用します。1ユニットあたり2回線増設する事が出来ます。
※ 本ユニットを増設するにあたっては“PR-7000 工事説明書”を参照して下さい。

6. パネル設定

6.1 操作の流れ



※ 時計表示から表示を変える時は【切替】キーを一度押します。

6.3 設定方法

基本操作

- 1) 【→】【←】【↑】【↓】【設定】【戻る】【切替】キーで操作します。
- 2) 時計表示から表示を変える時は【切替】キーを一度押します。
- 3) 設定可能状態になるとカーソルを表示します。
- 4) 【→】【←】キーを押すと、矢印の方向にカーソルが移動します。
- 5) 【↑】【↓】キーを押すと、設定データの表示が変化します。
- 6) 【設定】キーを押すと、設定データを確定します。
- 7) 設定データに異常があると、【設定】キーを押してもカーソルが消えません。
設定を確認し、正しい値を入力して下さい。
- 8) 【戻る】キーを押すと、キャンセルします。

(1) 時刻設定

※現在日時を設定します。

シ	°	コ	ク	セ	ツ	テ	イ													
2	0	0	5	/	0	1	/	0	1		1	0	:	0	1					

(2) 転送設定

※転送条件、電話番号等を設定します。

※A, B 2グループ設定出来ます。AとBで、端末番号が重複する様な設定は出来ません。

①先頭端末番号：00000～99999

②終了端末番号：00000～99999

③転送モード : P2000 : P2000モード
P2000E : P2000ENQモード
P3000 : P3000モード
P6000 : P6000モード
P6000E : P6000拡張モード
オンセイ : 音声

④転送先電話 : 転送先の電話番号を設定します (最大20桁)
番号 内線発信時の『ポーズ』は『,』を入力して下さい。

S1																					S24		
1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	1	2	3	4
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

①センサ番号 : 1～24に対応

②転送起動センサ : 1～24のどのセンサが異常の時に転送起動するかを設定します。
(0 : 転送起動しない 1 : 転送起動する)

ソ	ウ	シ	ン	シ	ケ	ン		B									P	2	0	0	0		
																				-	0	0	0

ソ	ウ	シ	ン	シ	ケ	ン		C										P	2	0	0	0	
																				-	0	0	0

ソ	ウ	シ	ン	シ	ケ	ン		D										P	2	0	0	0	
																				-	0	0	0

ソ	ウ	シ	ン	シ	ケ	ン		E										P	2	0	0	0	
																				-	0	0	0

ソ	ウ	シ	ン	シ	ケ	ン		F										P	2	0	0	0	
																				-	0	0	0

ソ	ウ	シ	ン	シ	ケ	ン		G										P	2	0	0	0	
																				-	0	0	0

(5) 回線情報設定

※各回線の動作条件を設定します。

※NO1～NO8の8回線設定出来ます。

- ①機能 : ジュシン : 受信回線に設定
: ソウシン : 送信回線に設定 (回線1のみ)

②ナンバーディスプレイ有無/ダイヤル種別

a)機能がジュシンの時

- : ND : ナンバーディスプレイ有り
: -- : 無し

b)機能がソウシンの時

- : PB : ダイヤル種別はPB
: 10 : 10PPS
: 20 : 20PPS

- ③データモード : P2000 : P2000モード
P2000E : P2000ENQモード
P3000 : P3000モード
P6000 : P6000モード
P6000E : P6000拡張モード

- ④印字設定 : ノーマル : 通常印字
アラーム : アラーム印字
- ⑤DES化 : ON : 使用する (P-6000, P-6000拡張のみ)
: OFF : 使用しない
- ⑥ハンズフリー : ON : 使用する
機能 : OFF : 使用しない
- ⑦動作モード : セツビ : 設備モード
: ケイビ : 警備モード

N	0	2		シ	°	ユ	シ	ン		N	D		P	6	0	0	0			ノ	ー	マ	ル	
				D	E	S	:	0	N				H	F	:	0	F	F			セ	ツ	ヒ	°

N	0	3		シ	°	ユ	シ	ン		N	D		P	6	0	0	0			ノ	ー	マ	ル	
				D	E	S	:	0	N				H	F	:	0	F	F			セ	ツ	ヒ	°

N	0	4		シ	°	ユ	シ	ン		N	D		P	6	0	0	0			ノ	ー	マ	ル	
				D	E	S	:	0	N				H	F	:	0	F	F			セ	ツ	ヒ	°

N	0	5		シ	°	ユ	シ	ン		N	D		P	6	0	0	0			ノ	ー	マ	ル	
				D	E	S	:	0	N				H	F	:	0	F	F			セ	ツ	ヒ	°

N	0	6		シ	°	ユ	シ	ン		N	D		P	6	0	0	0			ノ	ー	マ	ル	
				D	E	S	:	0	N				H	F	:	0	F	F			セ	ツ	ヒ	°

N	0	7		シ	°	ユ	シ	ン		N	D		P	6	0	0	0			ノ	ー	マ	ル	
				D	E	S	:	0	N				H	F	:	0	F	F			セ	ツ	ヒ	°

N	0	8		シ	°	ユ	シ	ン		N	D		P	6	0	0	0			ノ	ー	マ	ル	
				D	E	S	:	0	N				H	F	:	0	F	F			セ	ツ	ヒ	°

(6) 接点出力設定

※接点出力の動作条件を設定します。

※ブザーに同期する接点出力Aと受信データによる接点出力Bの2つの条件を設定します。

セ	ツ	テ	ン	シ	ユ	ツ	リ	ヨ	ク														
A	:	0	N																				

①

- ①受信時の動作 : ON : 出力する
OFF : 出力しない

※ ONと設定した時の出力形態は6. 3(7)ブザー設定によります。

(8) S I O設定

※通信ポート (S I O 1-1, S I O 1-2, S I O 2) の通信条件を設定します。

S	I	O	1	1															

- ①データ長 : 7
8
- ②ストップ : 1
2
- ③ボーレート : 9600 (bps)
4800 (bps)
2400 (bps)
1200 (bps)
- ④パリティ : EVEN : 偶数
ODD : 奇数
NON : 無し

S	I	O	1	2															

S	I	O	2																

- 20 : P-2000モード t6タイムアウト
ENQ送信後 情報受信が出来なかった。
- 31 : P-3000モード T2タイムアウト
データ送信時（転送、送信試験等）においてデータ送信後の情報のタイムアウト
- 32 : P-3000モード CAK3受信エラー CAK3が3回受信出来なかった。
- 33 : P-3000モード T3タイムアウト データ送信後データ待ちタイムアウト
- 34 : P-3000モード 受信データエラー CAK1を規定回数送信時
- 35 : P-3000モード センサ状態確認返送が規定回数受信出来なかった時
- 36 : P-3000モード センサ状態確認でセンサ返送されたセンサ情報が一致しなかった時
- 37 : P-3000モード 制御コマンドで送信したデータと受信したデータが一致しなかった時
- 60 : P-6000モード NS0によるエラー
- 61 : P-6000モード NS1によるエラー
- 62 : P-6000モード NS2によるエラー
- 63 : P-6000モード NS3によるエラー
- 64 : P-6000モード NS4によるエラー
- 65 : P-6000モード NS9によるエラー
- 66 : P-6000モード NR1によるエラー
- 67 : P-6000モード NR2によるエラー
- 68 : P-6000モード NR9によるエラー
- 69 : P-6000モード T2タイムアウトエラー
- 70 : P-6000モード 再送ENQ受信エラー
再送ENQを3回受信した事によるエラー

- ・回線番号

受信した回線番号を示します。

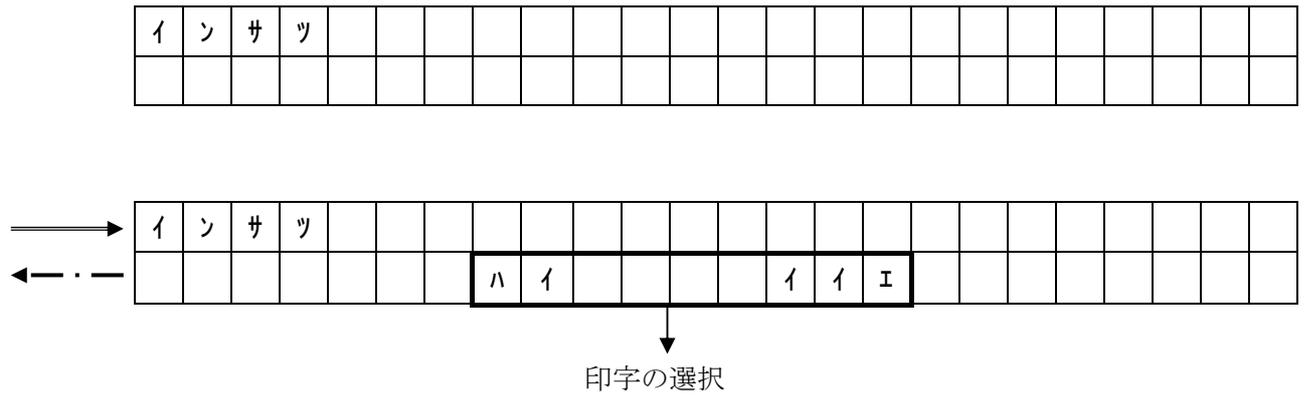
- ・通報種別

- 1 : P-2000モード
- 2 : P-2000ENQモード
- 3 : P-3000モード
- 4 : P-6000モード
- 5 : 電話機

- ・発信者番号

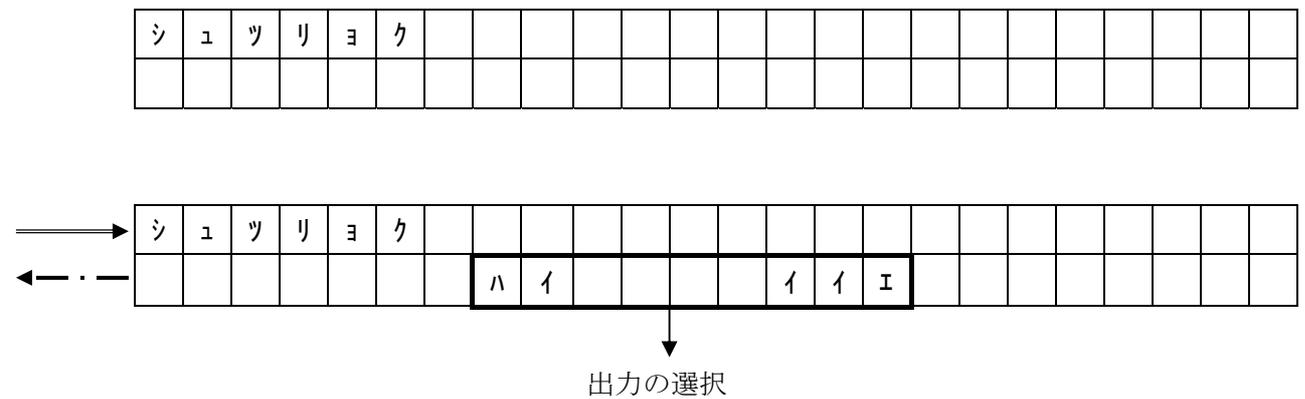
発信者番号を表示する（NTTとの契約が必要です）。発信者の契約、184ダイヤル付加等により番号が表示されない事があります。

(2) インサツ表示



※印字は最大100件分 印字します。

(3) シュツリョク表示

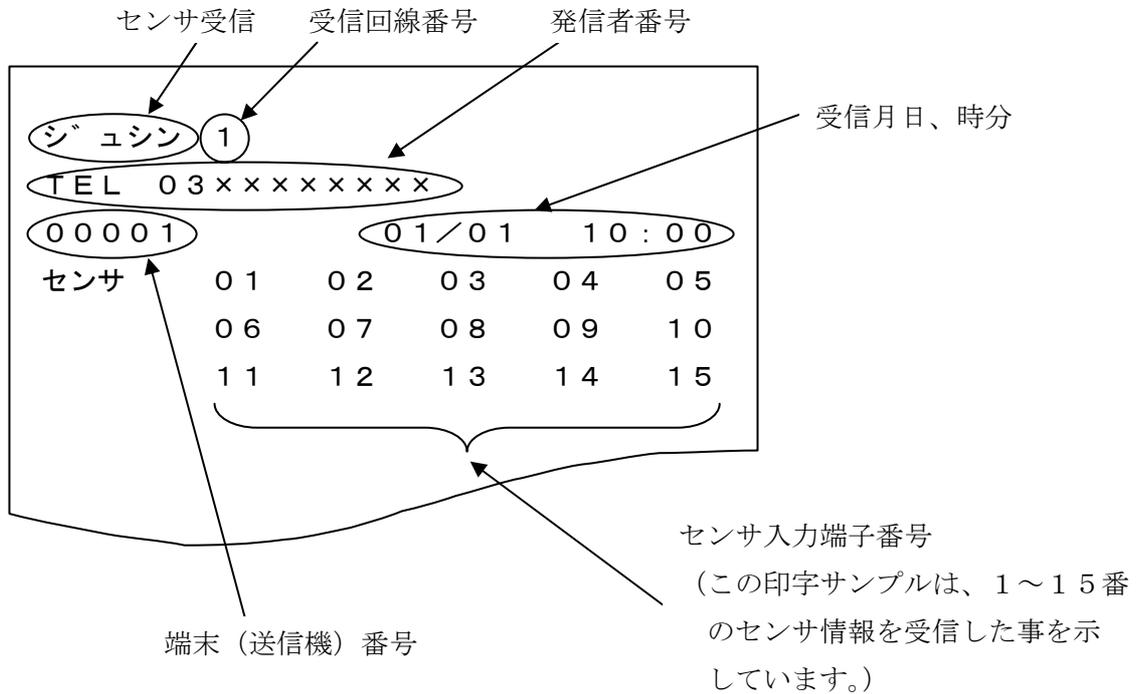


※S I O 2に履歴データをA S C I I形式で出力します。

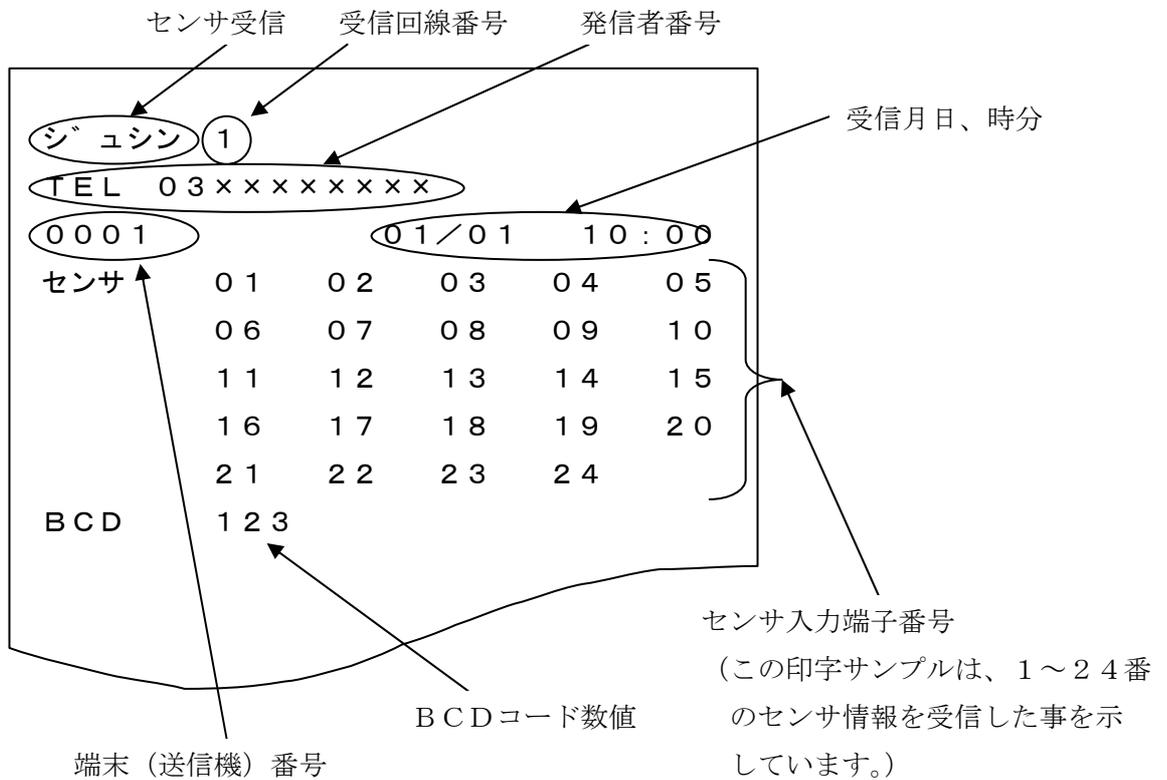
7. 印字サンプル

7.1 設備モードで使用する場合

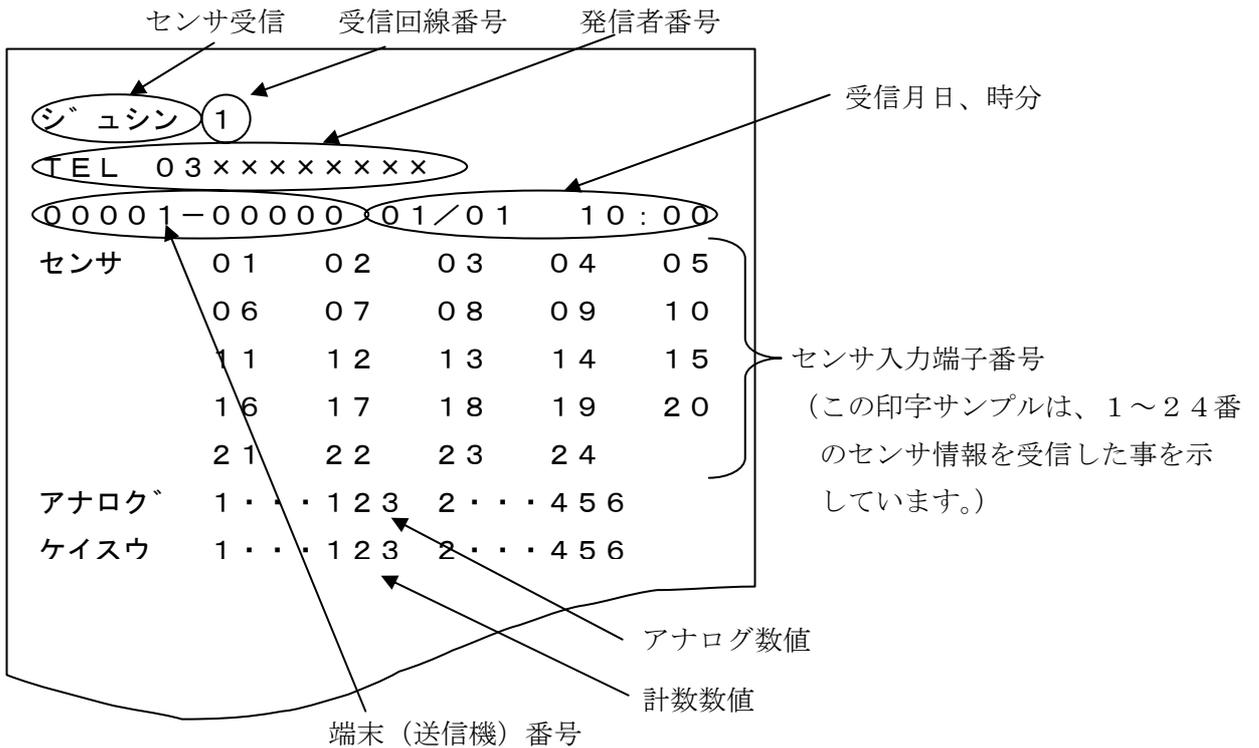
1) P-2000, P-2000ENQモード



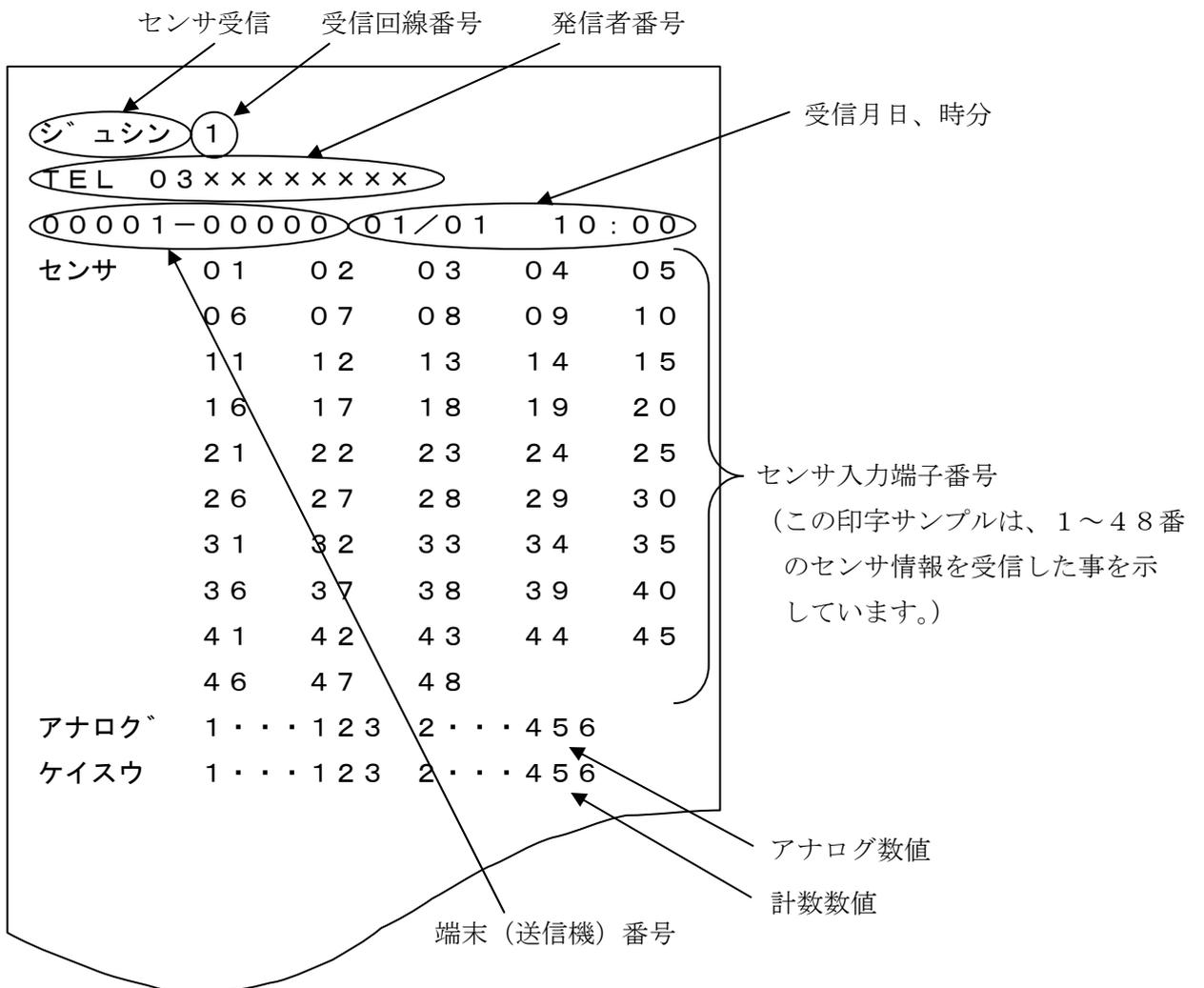
2) P-3000モード



3) P-6000モード

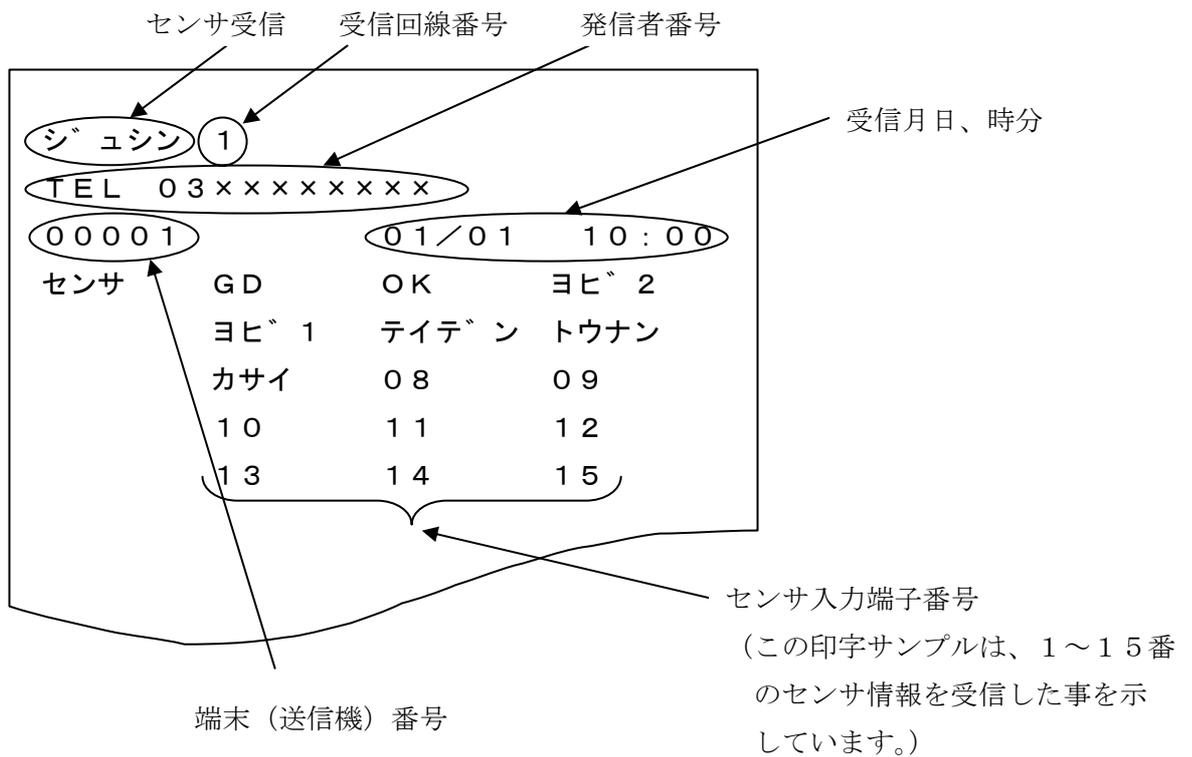


4) P-6000拡張モード

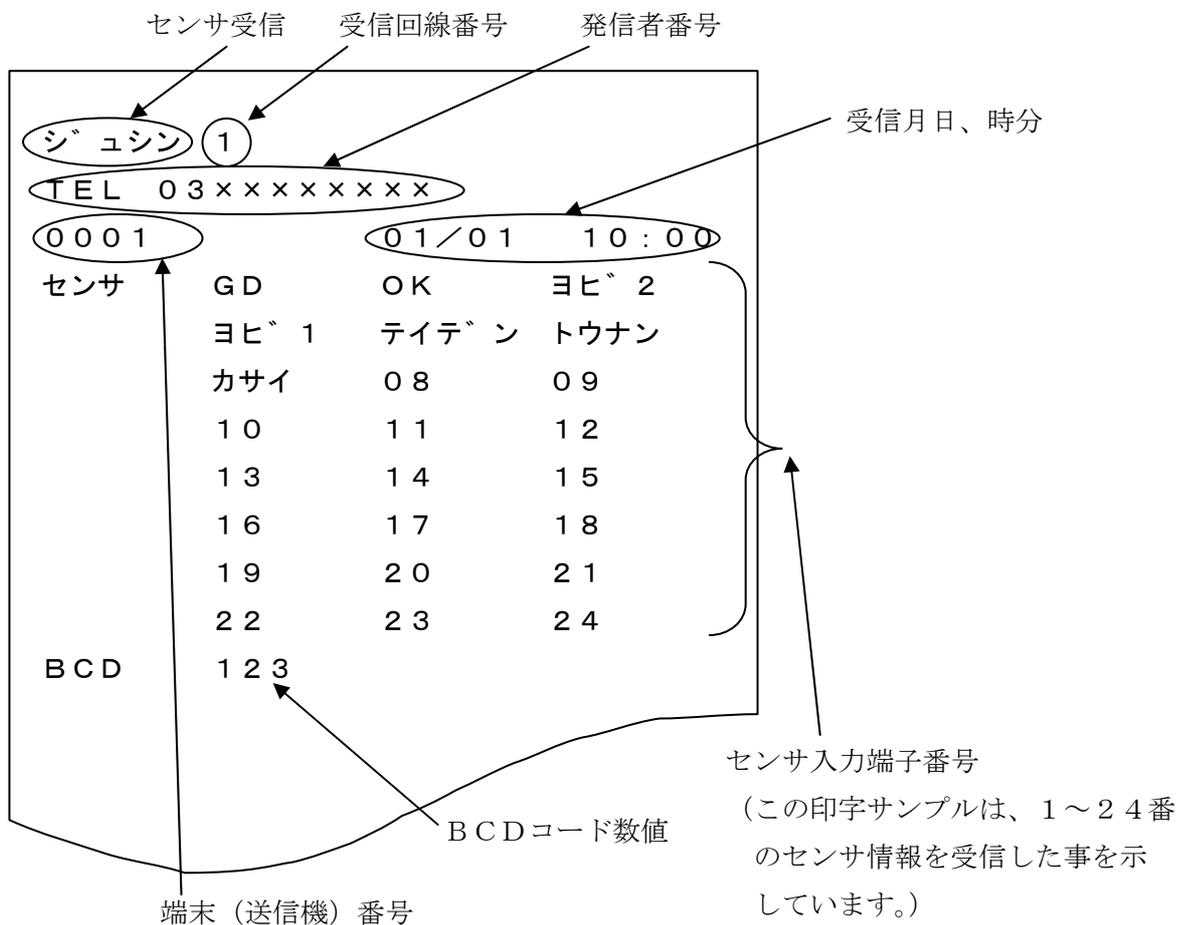


7.2 警備モードで使用する場合

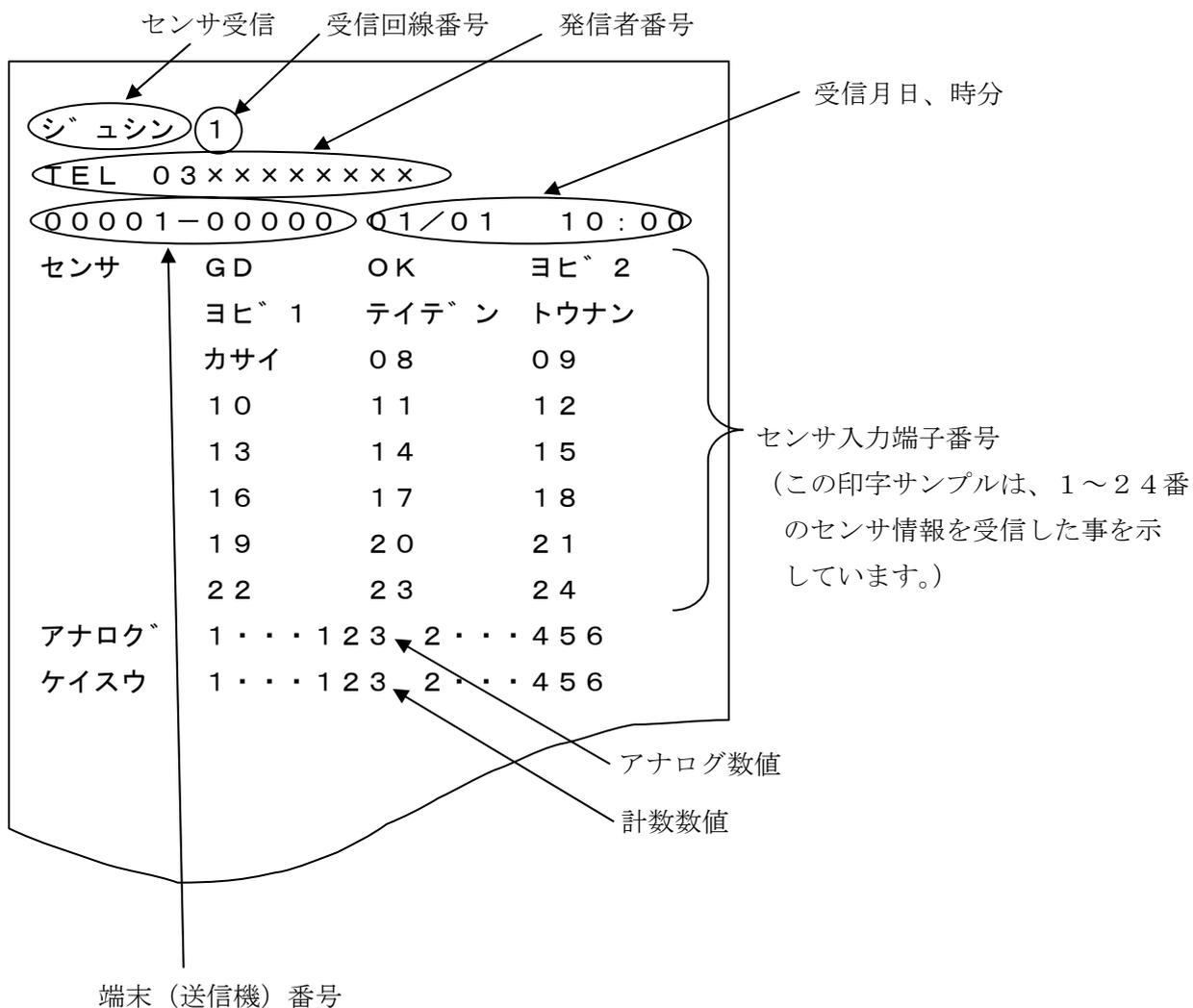
1) P-2000, P-2000ENQモード



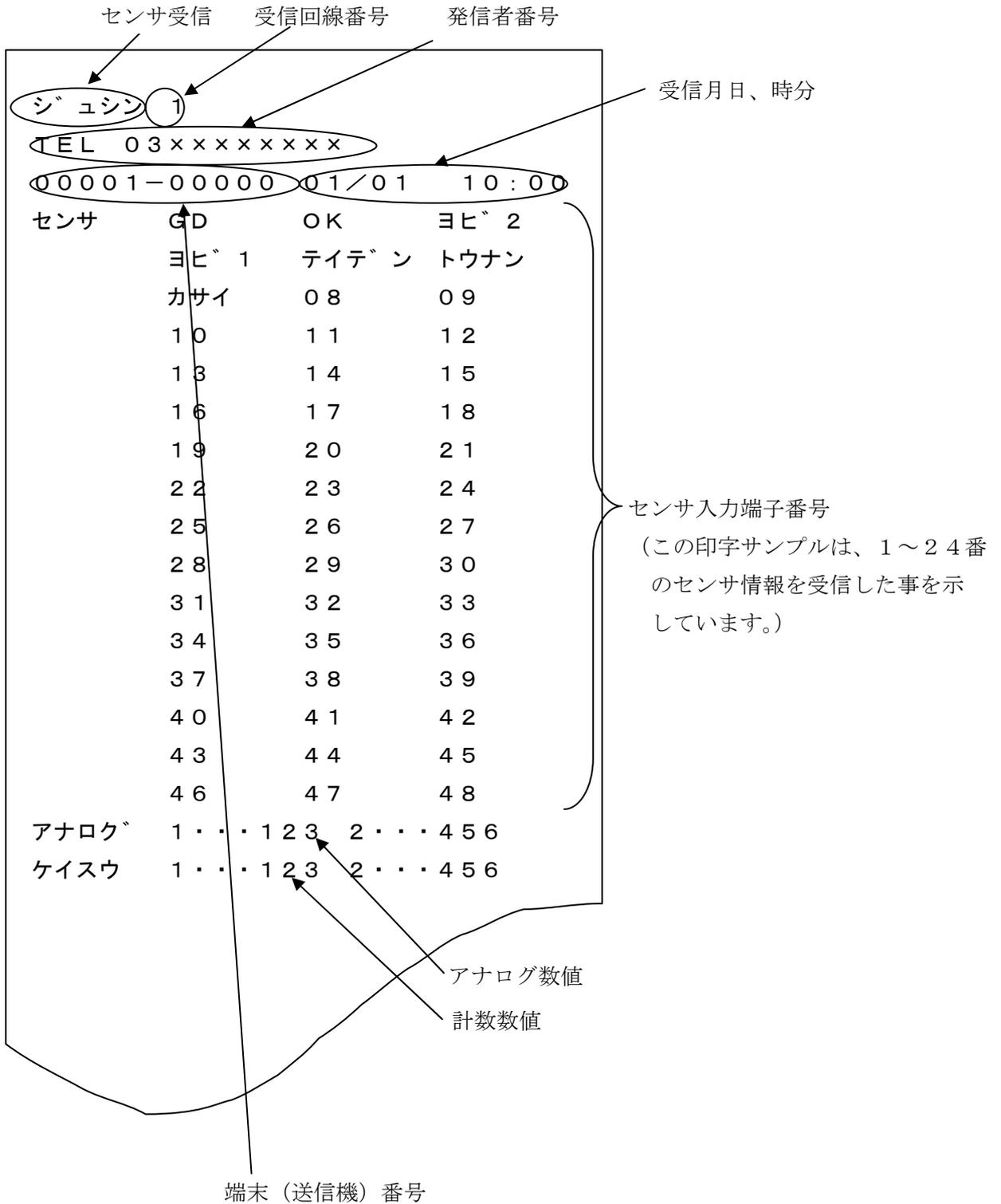
2) P-3000モード



3) P-6000モード

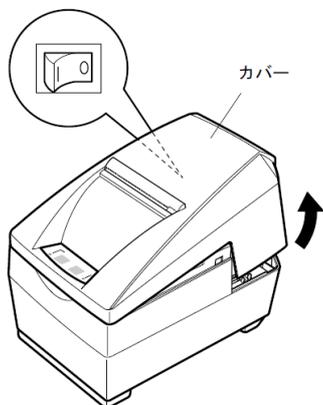


4) P-6000 拡張モード

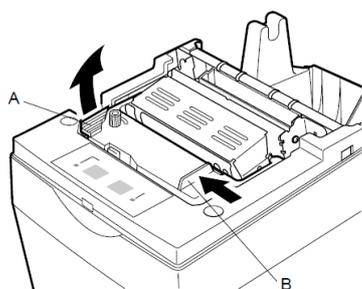


8. **リボンカセットの交換**

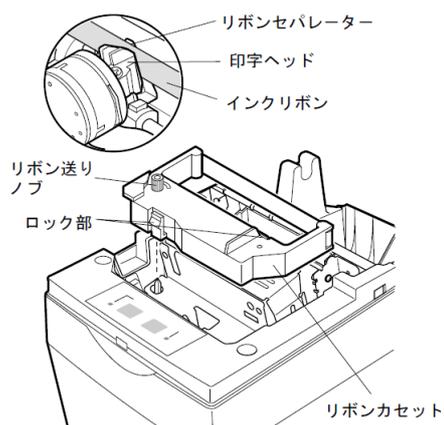
- (1) プリンタの電源を切って下さい。
- (2) カバーの後方を3センチほど上げ、そのまま手前に引いて、カバーを外して下さい。



- (3) 下図の様に、Aを持ち上げてから、Bを持ってリボンカセットを取り外して下さい。



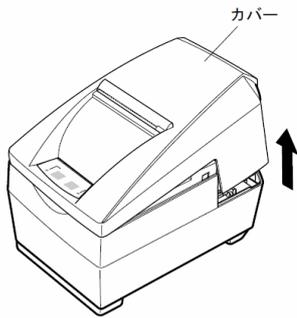
- (4) リボンカセットを下図の向きに置き、上から押さえてセットして下さい。うまくセットされない場合は、リボン送りノブを矢印の方向に回しながらカセットを押さえて下さい。



- (5) リボン送りノブを矢印の方向に回して、インクリボンのたるみをなくして下さい。
- (6) カバーを(2)と逆の順序で、取り付けて下さい。

9. **プリンタ用紙の交換**

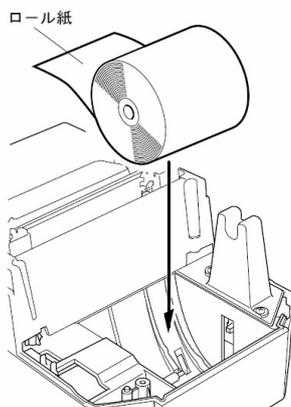
(1) カバーの後方を3センチほど上げ、そのまま手前に引いて、カバーを外して下さい。



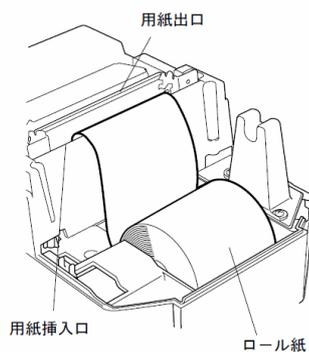
(2) ロール紙の先端をまっすぐに切って下さい。

(3) 電源が投入されていることを確認して下さい。

(4) ロール紙の巻き方向に注意して、下図の様に、ロール紙を用紙ホルダにセットして下さい。

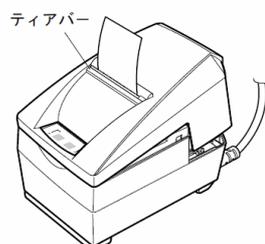


(5) 用紙の先端を用紙挿入口の中に、止まるまで挿入して下さい。用紙先端が用紙出口から出てきます。



(6) 用紙の先端をティアバーの隙間に入れ、カバーを1.の取り外し方法と逆の手順で取り付けて下さい。

注意：ロール紙の裏面などに終了予告マークが出たら、早めに用紙を交換して下さい。



10. **仕様一覧**

認定番号	技術基準適合認定 A05-0137001
使用回線	NTT一般公衆アナログ回線
ダイヤル方式	DP (10/20PPS) / PB
収容回線数	基本2回線, 追加6回線 (最大8回線)
通信モード	P2000, P2000ENQ, P3000, P6000, P6000拡張
受信表示等	ブザー鳴動、LCD表示、プリンタ印字
出力リレー	実装数: 2点 接点形式: メーク接点 接点定格: DC50V, 0.2A
入力電源	AC100V±10V (50/60Hz)
消費電流	0.4A以下 (オプションフル実装時)
使用動作環境	周囲温度: 0 ~ +40℃ 周囲湿度: 30% ~ 85% RH
予備電源	ニカド電池 停電補償時間: 30分 (但し満充電、電池新品時、回線ユニット未実装で着信回数3回まで) 電池寿命: 約3年
形状・重量	形状: 370 (W) × 350 (D) × 150 (H) ゴム足除く 重量: 約9.1kg
オプション	プリンタ【SP2320, スター精密製】 回線ユニット【PR-7002】(最大3枚、6回線) 通話用表示器【PR-6080】 表示ユニット【PR-7001】

11. **添付品**

下記のもので添付品として付属しています。開梱時に数量と異常の有無を確認して下さい。

1. モジュラーケーブル (2m) …… 2本
2. 取扱説明書…………… 1冊
3. 工事説明書…………… 1冊
4. リチウム電池…………… 1個

12. **故障かな？と思ったら**

修理に出す前に、下記の点をチェックして下さい。

<p>“プリンタ エラー” とLCD表示される。</p>	<p>■プリンタ用紙は残っていますか？ ■プリンタのケーブルが外れていませんか？ ■プリンタはオンラインになっていますか？ (プリンタの“ON LINE”ランプは点灯していますか？)</p>
<p>“センサシュツリョクエラー SIO11” または “センサシュツリョクエラー SIO12” と印字される。</p>	<p>■パソコン等のオプション機器は正しく動作していますか？ ■オプション機器のケーブルが外れていませんか？</p>
<p>“テイデン”と印字される。</p>	<p>■ACプラグがコンセントから抜けていませんか？ ■コンセントにAC100Vが印加されていますか？</p>
<p>通報の受信が出来ない。 (回線ランプが点灯しない)</p>	<p>■モジュラーケーブルが切れたり外れたりしていませんか？ ■端末側の設定は正しいですか？</p>
<p>通報の受信が出来ない。 (回線ランプが点灯)</p>	<p>■受信機及び端末側の設定が正しいですか？</p>
<p>電源が入らない (電源ランプが点灯しない)</p>	<p>■ACプラグがコンセントから抜けていませんか？ ■コンセントにAC100Vが印加されていますか？ ■FUSEが溶断されていませんか？</p>
<p>電源ランプが点滅している。</p>	<p>■停電用電池が正しく接続されていますか？</p>
<p>電源を切ると時計が正常な時刻で動作しない。</p>	<p>■リチウム電池が正しく接続されていますか？ ■リチウム電池が寿命ではありませんか？</p>
<p>“ツウシンエラー ユニット0” と印字される。</p>	<p>◆お求めになった販売店もしくは弊社までご連絡下さい。</p>

13. 保証書とアフターサービス

IWATSU 保証書			
製品名	パトホン PR-7000		
お買い上げ日	年 月 日	保証期間	お買い求めの日より 1年間
(1) お客様	ご住所	〒 TEL	
	ご氏名	様	
(2) 販売店印			

この製品をご使用中、正常なご使用状態で自然故障した場合は、本保証書記載内容により1年間無料修理いたします。

1. 修理はお買い求めの販売店に本保証書を提示の上ご依頼ください。
2. お買い求めの日、販売店印などの記入漏れがあると無効になります。必ずご確認いただき、記入のない場合はお買い求めの販売店にお申し出ください。
3. ご転居・ご贈答品などでお買い求めの販売店に修理を依頼することができない場合は、下記電話番号にご相談下さい。
4. 本書は再発行いたしません。たいせつに保管してください。

※ご記入いただいた内容は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために利用させていただきます場合もございますので、ご了承ください。

岩崎通信機株式会社
〒168-8501 東京都杉並区久我山1-7-41
03-5370-5700

保証規定

1. 取扱説明書、本体注意ラベルなどの注意書にしたがった正常な使用状態で、保証期間内に故障した場合にはお買い求めの販売店が 無料修理いたします。
ただし、離島およびこれに準ずる遠隔地への出張修理は、出張に要する実費をいただきます。
2. 保証期間内でも、次の場合には有料修理となります。
 - (イ) 本書のご提示がない場合。
 - (ロ) お買い求めの日・お客様名・販売店印記入がない場合、または字句を書き換えられた場合。
 - (ハ) 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障・損傷。
 - (ニ) お引渡し後の移動、落下などによる故障・損傷。
 - (ホ) 火災・公害・異常電圧および地震・雷・風水害その他天災地変など。外部に原因がある故障・損傷。
 - (ヘ) 消耗部品が損耗し取り換えを要する場合。
 - (ト) 電池の液もれによる故障・損傷。
3. 本書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

★この保証書によって保証書を発行しているもの(保証責任者)およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
また、保証期間経過後の修理などにつきまして、おわかりにならない場合はお買い上げの販売店または弊社営業拠点にお問い合わせください。

年月日	修理者	ご確認	修理メモ

・保証書について

販売店・保証期間・お取付け年月日等が記入されている事をお確かめの上、大切に保存して下さい。

保証書はお買い上げ販売店の記入がないと無効です。

保証書の再発行は致しませんので大切に保管願います。

・免責事項

火災、地震、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤使用、異常な条件下での使用により生じた損害に対して、当社は一切責任を負いません。

本製品の使用または使用不能から生じる付加的な損害（事業利益の遺失、事業の中断、記憶内容の変化、消失など）に関して、当社は一切責任を負いません。

・アフターサービスについて

修理を依頼される前に、故障かどうかご確認の上、お買い求めの販売店または工事店、あるいは弊社営業所に修理をご依頼下さい。

・保証期間中の修理は

万一、故障が生じた時は、保証書の記載内容に基づいて修理します。

詳しくは保証書をご覧ください。

・修理を依頼される時は次の事をお知らせ下さい。

①ご住所 ②ご氏名 ③電話番号 ④お取り付け日

⑤故障内容・異常の状況

（いつ、どの様に等出来るだけ詳しく、なお、付近に強い雷が発生した等の心当たりがあればその内容も）

修理等で返送される場合は、ご氏名、ご住所、電話番号等を記入の上、コピーを同封して下さい。ご記入頂いた個人情報、修理の連絡、問い合わせに使用させていただきます。

・保証期間経過後の修理は

修理によって本装置の性能が維持出来る場合は、お客様のご要望により有料にて修理致します。

保守部品の保有期間について、納入後7年とします。

保証およびアフターサービスについてご不明な点がございましたら、販売店または弊社営業部にお問い合わせ下さい。

ご不明の点がございましたら、下記電話番号へお気軽にご相談ください。
<03-5370-5700>

創造と豊かな対話のために

IWATSU 岩崎通信機株式会社

通信営業本部 〒168-8501 東京都杉並区久我山 1-7-41

YML001511 (第5版)
2006年08月発行